



---

## 卷末資料



---

モデルコース

## モデルコース

### 花に癒され、勇壮な大凧を満喫する “春”のコース

#### 牛島の藤

「藤花園」の藤は、樹齢1,200年あまりで、幹周りは4m以上。国内最大級で国指定特別天然記念物の藤をご覧ください。



#### ふじ通りの藤

春日部駅西口のふじ通りには、222本の藤が両側に植えられ、その延長は約1kmになります。



#### 大落古利根川緑道



大落古利根川沿いに咲き誇る満開の桜並木が、道行く人々の目を楽しませてくれます。市内には、大落古利根川以外の河川にも、花見のスポットがあります。

#### おみやげに



春日部ならではの“おいしい”お土産「かすかべフードセレクション」をどうぞ。

#### 大凧あげ祭り



縦15m、横11m、重さ800kgの迫力の大凧は、見て楽しむだけではなく、実際に引き手として体験（申込制）することができます。

#### 首都圏外郭放水路



首都圏外郭放水路は、地下50mに建設された延長6.3kmの世界最大級の洪水防止施設です。調圧水槽は、まるで「地下神殿」。

## モデルコース

### 自転車でアクティブに “夏”のコース



#### 春日部情報発信館 ぷらっとかすかべ

観光情報、特産品などの魅力的な情報の発信やレンタサイクルの貸出、かすかべフードセレクションの販売もしています。

#### 産直の里 内牧



「ぷらっとかすかべ」をはじめ、市内にはクレヨンしんちゃんのスポットが複数あります。

#### 道の駅「庄和」

地元産の新鮮な野菜など“おいしい”ものがいっぱい。常設のレンタサイクルで小さな旅はいかがですか。



#### おみやげに



内牧発のブランドフルーツ「春日部甘熟梨」。ぜひ自慢の梨をご賞味ください。また、この他にも、ぶどうなどの果物や野菜などなど、季節ごとの新鮮な味もどうぞ。

#### 首都圏外郭放水路



#### 内牧公園



広大で豊かな自然環境の中に、アスレチック広場、バーベキュー広場、ピクニック広場などがあります。サイクリング兼遊歩道など楽しみ方盛りだくさんです。

#### ブルーベリー



市内には、甘酸っぱい爽やかな味のブルーベリーも。そのまま、それともジャムに、ヨーグルトにいろいろ。

#### 古利根川公園橋



全長79mの橋上公園。「光と風」をテーマに、麦わら帽子をイメージしたアーチは、夜にはライトアップされます。一味違った景観をご堪能ください。



## モデルコース

### 実りの秋、芸術の秋、歴史散策とあわせて楽しむ“秋”のコース

#### 春日部情報発信館 ぶらっとかすかべ



ぶらっとかすかべでは、事前予約で粕壁宿のガイドも可能です。

#### 実りの秋



柿やキウイフルーツ、そして、「春日部甘熟梨」もまだまだ食べ頃。

きらきらと輝くお米や豊富な種類の野菜も。「春日部のおいしい」を味わいにお越しください。



#### おみやげに



#### 日光街道 粕壁宿

江戸日本橋から千住・草加・越ヶ谷に続く、第4の宿場町です。歴史や時代背景を再現したシャッターアートや、日光街道の「道しるべ」、寺社巡りなどが楽しめます。



#### 道の駅「庄和」

田園風景に囲まれ、四季の移り変わりを感じられる恵まれた自然環境の中にあります。地元産の新鮮な野菜の販売やお土産などの販売、食事も楽しめます。



#### かすかべ 音楽祭



毎年11月、春日部のまちは、あちらこちらで心地よいメロディが響き渡ります。

ホールでゆったりと、まちなかのお店でコーヒーを飲みながら、はたまた公園で本格的なジャズを、親子で、それとも仲のいい友達とお楽しみください。

#### 首都圏外郭放水路



## モデルコース

### 春日部を大きく回って旬を味わう “冬”のコース

#### 郷土資料館



春日部の歴史と文化を紹介する施設で、竪穴式住居や江戸時代の粕壁宿推定模型を展示しています。今のまちなみとの違いを感じられます。

#### 春日部情報発信館 ぷらっとかすかべ



#### 首都圏外郭放水路



#### おみやげに



#### 龍Q館 (りゅうきゅうかん)



龍Q館は首都圏外郭放水路内に設置され、外郭放水路の機能や役割を紹介するほか、地域との連携を図った総合学習・生涯学習施設としての機能も備えています。

#### いちご狩り



市内にはいちご狩りが楽しめる農園がいくつもあります。農園ごとの違いを比べてみるのも面白いかも知れません。

#### 温泉



寒い時期には温泉で温まりましょう！

#### みかん狩り



みかん農園内食べ放題！青空の下で、フレッシュなみかんをご賞味あれ。



---

## “かすかべ”の魅力



## “かすかべ”の魅力

### 春日部市大凧あげ祭り



#### ～歴史～

大凧に関する史料の初出は西宝珠花にある小流寺の過去帳といわれています。この過去帳によれば、1841（天保12）年9月11日に出羽の国の僧「浄信」が、各地巡礼の折に小流寺に宿泊し、土地の人々を集めて養蚕の豊作占いとして凧あげを伝えたことが記されています。人々は喜び合って、その翌年より繭の収穫時期に凧を揚げるようになったと伝えられています。

その後、凧の大きさも徐々に大型になり、明治中頃には現在の大きさ（縦15m、横11m、重さ800kg）になりました。

大凧が空へ舞いあがる姿は、勇壮の一言です。

#### ～開催日程・会場～

5月3日（祝）・5日（祝）

埼玉県春日部市西宝珠花 江戸川河川敷（宝珠花橋下流）





## “かすかべ” の魅力

### 粕壁宿



【道標（みちしるべ）】

粕壁宿は、江戸日本橋から千住、草加、越ヶ谷に続く日光街道4番目の宿場町でした。

粕壁宿から日光・奥州方面へ向かうと、杉戸・幸手・栗橋と宿場町が続きます。

道標とは、通りの辻などに建てられ、旅人に道先を示すものです。東屋田村本店前にある道標は、側面には「西南 いハつき」「北日光」「東江戸、右之方陸羽みち」との道先と、設置者や1834（天保5）年に木製から石製に替えられたことが記されています。

## “かすかべ”の魅力

### 牛島の藤



～特別天然記念保存木～

この藤は樹齢1,200余年で山藤に似ていますが、つるは右巻きで無毛です。本州・四国・九州の山地にありますが、その最も優秀な園芸の変種で花房の長さは最も長いもので2mにもなり、根まわり10㎡、花色は美しい藤紫です。昭和30年代には花房が2.7m、明治の頃は3mにまで垂れ下がったそうです。

いわゆる「九尺藤」という品種で、全国の「九尺藤」の原木が、この「牛島の藤」です。

1928（昭和3）年に国の天然記念物指定された後、1955（昭和30）年に特別天然記念物に指定され、1989（平成元）年には「新日本名木百選」にも選定されています。樹は根本から数本に分岐して藤棚の面積は700㎡です。

花時の眺めは、“世界一”と賞賛されます。



～見頃～  
4月下旬から5月上旬

## “かすかべ”の魅力

### かすかべフードセレクション

さまざまな「こだわり」のもと生み出された春日部ならではの優れた食品を「かすかべフードセレクション」として、認定しています。食のブランド化を図る取組として、全国に向けて広く発信し、本市の地域経済の活性化と地域イメージの向上を図っています。

2013（平成25）年10月1日から初めて20品を認定し、スタート。2017（平成29）年4月1日には新たに8品が加わり、計28品となってバージョンアップしました。

毎日の食卓から贈り物まで、幅広い用途でたくさんの人に食べてもらいたいセレクションです。



かすかべフードセレクション  
認定マーク

### 春日部甘熟梨（かんじゅくなし）

通常、梨は流通の過程で長持ちするように早めに収穫されますが、春日部市梨組合の甘熟梨は有機肥料を使った土づくりを行い、通常の梨より樹上で10日ほど成長させ、しっかりと完熟させてから出荷している内牧発のブランドフルーツです。

市場の梨にはない糖度やコクが魅力の春日部を代表する農産物で、庭先販売や発送を中心とした直売体制を整えています。



## “かすかべ”の魅力

### 特産品

#### 《桐たんす》



親・子・孫へと受け継がれる家具の最高級品。春日部の桐たんすづくりは、江戸時代、日光東照宮造営に加わった工匠たちが桐の産地だった春日部に移り住んで生産を始めたのが始まりです。

1979年（昭和54年）に国から「伝統的工芸品」の指定を受けています。

桐たんすは湿気を調節する特性を持ち、中の衣類を守ります。からくり箱のような隠し戸付きなど、先人の工夫も受け継がれています。

#### 《桐箱》



桐たんすとともに、約300年の歴史と伝統を誇る春日部の桐箱。春日部の豊富な桐材を元に、指物、文庫、箱枕、整理箱などの日用品を作ったのが始まりといわれています。

桐は木目が美しく光沢があり、防虫、防カビなど、優れた性質があることで古くから知られています。また、火や水に強く、耐久性も高いことで、昔から様々な道具や家具に重宝されてきました。

1977年（昭和52年）に県の「伝統的手工芸品」の指定を受けています。



## “かすかべ”の魅力

### 特産品

#### 《押絵羽子板》



押絵羽子板の制作は、戦後、東京からの良質の桐を求めて移り住んだ職人と春日部の桐との出会いによります。江戸時代の浮世絵をほうふつとさせるその姿は、芸術品として高い評価を受けています。

厚紙に羽二重の布をかぶせ、中に綿を入れてふくらませることで立体感を生み出します。歌舞伎狂言から見立て物と呼ばれる美人画などあらゆる題材の挿絵があります。

春日部の押絵羽子板はすべてが手づくりで、全部で50～70もの材料を組み合わせおよそ200もの工程をかけて1枚の羽子板として仕上げられます。

1977年（昭和52年）に県の「伝統的手工芸品」の指定を受けています。

#### 《麦わら帽子》



春日部は、ほぼ中央に大落古利根川が流れ、土地が肥沃で昔から米・麦の生産地として、また麦の集散地として栄えてきました。農家の副業として、1880（明治13）年頃から麦を5本編み込んで組紐状にした、「真田」を作り始めたことが、麦わら帽子を製造するきっかけになったといわれています。1897（明治30）年頃から現在のような麦わら帽子になりました。

最近では、長年の技術を最大限に生かし、麦わら素材で帽子はもとよりバッグ、小物入れなど、一歩踏み込んだファッション性の高い製品づくりが進んでいます。



---

## 計画策定経過

## 計画策定経過

### 1.春日部市観光振興審議会の開催

2018（平成30）年 7月23日 13:30～春日部市役所 本庁舎2階 第一委員会室  
2018（平成30）年10月23日 14:30～春日部市役所 本庁舎2階 第一委員会室  
2018（平成30）年12月20日 9:30～春日部市役所 本庁舎2階 第二委員会室

#### 【審議会委員】

会 長：小沢智樹 中央ビジネス研究所株式会社 代表取締役  
副会長：橋本佳恵 共栄大学 教授  
委 員：栗原夏樹 朝日自動車株式会社 常務  
委 員：高橋健一 東武鉄道株式会社 営業統括本部営業部スカイツリーライン営業支社 支社長  
委 員：望月康紀 東武トップツアーズ株式会社 企画仕入本部 事業企画部 副部長  
委 員：内田潔 公募に応じた市民

### 2.関係者ヒアリング

2018（平成30）年 9月3日～10月1日の間で、以下14団体を対象にヒアリング調査を実施しました。

	ヒアリング対象
1	春日部情報発信館（ぶらっとかすかべ）
2	春日部商工会議所
3	春日部市観光協会
4	庄和商工会
5	春日部市特産品協議会
6	春日部桐たんす組合
7	田口良梨園（春日部市梨組合会長）
8	大晴農園（産直の里 内牧協議会会長）
9	首都圏外郭放水路（国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所、龍Q館）
10	道の駅「庄和」指定管理者
11	赤沼民俗文化財保存会
12	かすかべ案内人の会
13	春日部観光ボランティアの会
14	東武鉄道株式会社

### 3.春日部市観光に関わるインターネット調査

2018（平成30）年 9月19日～9月23日の間で、1都3県在住の一般男女を対象にインターネット調査を実施しました。

### 4.春日部市来訪者調査

2018（平成30）年 9月24日～10月15日の間で、期間中に調査地点を訪れた春日部市外在住の日本人・外国人を対象にアンケート調査を実施しました。

### 5.市民意見提出手続（パブリックコメント）

2019（平成31）年 1月4日～2月2日の間で、市民を対象にパブリックコメントを実施し意見はありませんでした。

設置場所：市政情報室、市内公共施設など23箇所  
市公式ホームページへの掲載

## 6.ワークショップの実施

春日部市に今はないコンテンツを作り出すためのワークショップを実施、各回とも春日部市の観光に関わる事業者やボランティアなど、約30名程度が参加しました。  
発表コンテンツの内、反映できるものについては計画に反映しました。

2018（平成30）年 10月31日 14:00～17:00

春日部市 教育センター2階 視聴覚ホール

2018（平成30）年 11月21日 14:00～17:00

春日部市役所 本庁舎前アイピー春日部ビル7階 大会議室



# 諮問

春観発第 162 号  
平成30年7月23日

春日部市観光振興審議会  
会長 小沢 智樹 様

春日部市長 石川 良三

## 諮 問 書

春日部市観光振興審議会条例（平成30年3月16日条例第5号）第2条の規定に基づき、春日部市観光振興基本計画について、貴審議会の意見を求めます。

# 答申

春 観 審 発 第 5 号

平成30年12月26日

春日部市長 石川 良三 様

春日部市観光振興審議会

会 長 小 沢 智 樹

## 春日部市観光振興基本計画（案）について（答申）

平成30年7月23日付け春観発第162号にて諮問のありました春日部市観光振興基本計画につきまして、慎重に審議を重ねた結果、概ねその内容を妥当と判断し、ここにその旨を答申します。

なお、審議過程において出されました意見等については、十分に尊重し、適切な計画の遂行に向けて取り組まれるよう要望します。

## 意 見

本審議会は、春日部市が提示した案をもとに、専門的な見地や市民としての視点で、積極的な討議を重ね、慎重に審議してきた。

今回諮問された春日部市観光振興基本計画は、春日部市の今後9年間にわたる基本的な観光まちづくりを推進するための長期計画である。本計画において定めた観光ビジョン「『川』とともに暮らす歴史といまを未来につなぐ観光地 春日部」の実現を図るため、将来の春日部市の観光のあるべき姿を見据え、市民や観光にかかわる全ての方と行政が共通の目標を持ち、一体となって魅力ある観光まちづくりを進められたい。

なお、個別の意見については、別紙のとおりである。

## 別紙

### 1 計画全体について

国内の観光を取り巻く社会環境が変化する中、観光まちづくりを通じた地域活性化を推進するため、現状と課題を認識したうえで、従来の観光にとらわれることのない計画になるよう努められたい。

### 2 観光資源について

国内外から観光客の誘致に向けて、春日部ならではの資源を生かした観光価値の向上を図られたい。また、来訪意欲を高める取組や来訪者が自ら情報発信をしたくなる取組を進められたい。

### 3 観光客の受入体制について

訪日外国人を含む観光客の利便性や満足度の向上を図られたい。また、市民や観光にかかわる全ての方一人ひとりが観光まちづくりに積極的に参画できる仕組みづくりに努められたい。

### 4 安心・安全な観光まちづくりについて

自然災害などが発生した場合には、観光客の安心・安全が確保されるよう、体制づくりや体制強化に努められたい。また、自然災害などで被害を受けた観光関連産業の早期復興体制の強化に努められたい。



---

## 春日部市観光振興基本計画

発行 春日部市  
〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地  
TEL 048-736-1111  
URL <https://www.city.kasukabe.lg.jp/>  
編集 環境経済部観光振興課  
作成 2019（平成31）年 3月

---

この事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けています。



